

財務省第4入札等監視委員会令和2年度第3回定例会議 議事概要

開催日及び場所	会議の開催を中止し、審議書類の回覧をもって会議の代替とした。 審議書類の回覧終了日：令和3年5月20日(木)		
委員	委員長 末松 栄一郎(埼玉大学大学院人文社会科学研究科長) 委員 大澤 一司(アーク法律事務所 弁護士) 委員 小山 彰(小山公認会計士事務所 公認会計士)		
審議対象期間	令和2年10月1日(木)～令和2年12月31日(木)		
抽出案件	4件	(契約の概要)	(備考)
競争入札 (公共工事)	1件	契約件名：(20)さいたま新都心合同庁舎1号館照明器具取替等工事 契約相手方：三菱電機ビルテクノサービス株式会社 (法人番号：5010001030412) 契約金額：54,450,000円 契約締結日：令和2年10月7日 担当部局：関東財務局	【案件1】
随意契約 (公共工事)	1件	契約件名：潮来税務署潮来宿舎浴室改修その他工事 契約相手方：マツザキマテリアル株式会社 (法人番号：5050001021606) 契約金額：28,534,000円 契約締結日：令和2年11月6日 担当部局：関東信越国税局	【案件2】
競争入札 (物品役務等)	1件	契約件名：令和2事務年度「申告案内コールセンター」の運営業務委託 契約相手方：トランス・コスモス株式会社 (法人番号：3011001041302) 契約金額：118,800,000円 契約締結日：令和2年10月15日 担当部局：関東信越国税局	【案件3】
随意契約 (物品役務等)	1件	契約件名：(R2)国有財産地下埋設物調査業務(東京都立川市外) 契約相手方：株式会社オオバ (法人番号：9013201001170) 契約金額：93,500,000円 契約締結日：令和2年10月23日 担当部局：関東財務局	【案件4】
うち応札(応募) 業者数1者関連	3件	潮来税務署潮来宿舎浴室改修その他工事 令和2事務年度「申告案内コールセンター」の運営業務委託 (R2)国有財産地下埋設物調査業務(東京都立川市外)	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	以下のとおり		
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし		

委員からの意見・質問	回答
<p>【案件1】 (20)さいたま新都心合同庁舎1号館照明器具取替等工事</p> <p>予定価格の積算額が高かったのではないかと。積算の改善の必要性はないか。</p> <p>落札率は低く、予定価格と入札金額に乖離があるが、その要因は何か。粗悪な製品の使用や手抜工事等の問題はないか。</p> <p>応札者3者の入札金額にはバラツキがあり、応札者の事情だけでなく、工事概要・仕様等の公表の内容等に関して調達側にも問題はないか。</p>	<p>予定価格のうち機器調達価格は市場価格を採用し、人件費は国交省が示す労務単価等から算出しており、予定価格は適正であったと思料。</p> <p>契約相手方は、企業努力により機器納入価格を抑えたことや、当庁舎において同種工事を複数施工しており、効率的な作業による経費低減を見込んだことが、予定価格との乖離の主な要因と思料。</p> <p>また、工事に使用する機器は日本国内の複数メーカーのものを使用しているほか、工事中は現場で常時監督をしており、手抜工事は行われていない。</p> <p>入札金額が低かった者は、上記記載のとおり当庁舎において同種の工事实績があり、機器の調達価格を抑えつつ、効率的な作業による経費の低減等を見込んだ結果と思料される一方、入札金額が高かった者は新規業者で、当局の予定価格に近い金額となっている。</p>
<p>【案件2】 潮来税務署潮来宿舎浴室改修その他工事</p> <p>対応業者が限定される仕様になっていないか。</p> <p>一般的な改修工事と思われるが、応札者数が1者なのは何か。</p> <p>2回目の入札時に予定価格が減額となった理由は何か。また条件変更している項目はあるか。</p> <p>2回入札を実施しても落札しなかった理由は何か。</p> <p>当該見積金額となった経緯を教えてください。</p>	<p>仕様は一般的なものであり、対応業者が限定されるものではない。</p> <p>宿舎周辺は県内の他の地域の業者や他県の業者が参入するには遠隔地となることや、同時期に他の工事を受注していた関係で、結果的に応札者が1者になったと考える。</p> <p>工期短縮により計上する諸経費が減額となり、予定価格が減額となった。条件は、工期変更のほか、入札参加資格に「内装仕上工事」の等級が「A」又は「B」に格付けされている者を追加した。</p> <p>1回目は2者の参加申し込みがあったものの、1者は他の工事受注につき辞退、1者は入札金額の積算が間に合わず不参加となり、不調となった。2回目は、入札金額が予定価格を上回り落札しなかった。</p> <p>2回目の入札で落札とならず、工期も限られることから見積依頼を行い、当該業者が設計図書や積算額を見直した結果、当該見積金額となったものである。</p>
<p>【案件3】 令和2事務年度「申告案内コールセンター」の運營業務委託</p> <p>1者応札となった理由は何か。</p>	<p>入札説明書を受領した業者のうち、参加資格を有する者に声掛けをしたが、結果的に1者応札となった。</p> <p>声掛けした業者に確認したところ、他の案件を優先させたとのことであった。</p>

委員からの意見・質問	回答
<p>幅広い業務にもかかわらず、契約締結から開設準備、コールセンターの設置及び原状回復まで半年足らずの期間で行うことになっており、対応できる業者が限られる仕様になっていないか。</p> <p>ネット上でのサービス提供などの新しい方策により、仕様書上コールセンターの規模の見直しは行われているのか。</p> <p>過去の契約形態はどうなっているのか。同一の業者に随意契約で委託をしていないか。</p> <p>過去の落札業者と今回の契約業者と同一か。</p> <p>応札業者に偏りはあるか。またこれまで1者応札解消に向けて、どのような取組を行ってきたのか。</p>	<p>平成27年度以降、令和元・2年度以外は2者以上が応札しており、対応できる業者が限られる仕様ではない。 なお、業者の体制整備ができるよう公告時期の早期化や、開札日から業務開始までの日数をより一層確保するよう努めている。</p> <p>実施規模は過去の相談件数や会場のキャパシティを基に検討しているため、新しい方策により相談件数の減少が経常化すれば、縮小すると考える。</p> <p>契約形態は一般競争入札だが、令和元年度は落札者が決定せず随意契約を行っている。</p> <p>契約業者は、平成27年度以降、平成28年度を除き今回と同一である。</p> <p>応札業者は年度によって異なり偏りはない。 令和元年度が1者応札だったことを踏まえ、令和2年度は、より多くの新規業者を開拓する観点から、入札説明書の電子交付及び入札説明書を受領した業者のうち、参加資格を有すると思われる者に積極的な声掛けを実施した。</p>
<p>【案件4】 (R2)国有財産地下埋設物調査業務(東京都立川市外)</p> <p>予定価格の算出方法を教えてほしい。</p> <p>1者のみが入札した理由として考えられるものは何か。</p> <p>複数者に入札参加してもらうため更なる方策を検討する予定はないか。</p> <p>不調後、入札参加者から見積書を徴取し、随意契約が成立した経緯を教えてください。</p>	<p>公共工事の積算基準に準拠し、直接工事費(地下埋設物調査業務)、間接工事費(共通仮設費・雑工事費)及び一般管理費等の計上により、予定価格を算出している。</p> <p>より多くの競争性を確保するため、競争参加資格を1等級下位にまで広げている。しかし1者のみの入札だったことから、地下埋設物調査の専門的知見や業務の遂行能力を有する業者は限られるのではないかと史料。</p> <p>入札参加者を増やすために、資格を有する業者への声掛けを検討したい。</p> <p>3回目の入札金額と予定価格との差には見積合せが成立する見込みがあったため、参加者に見積合せ参加を打診したところ、予定価格の範囲内となり成立したもの。 本件は、地方公共団体から公共施設用地として取得要望があった国有地の地下埋設物(掘削)調査であり、売り払い後の整備スケジュールを考慮すると、再度公告をする時間的余裕がなかったものである。</p>

委員からの意見・質問	回答
<p data-bbox="231 235 598 369">本件と同種の他の案件も、同じ業者が1者応札で落札しているが、本件との相違点を教えてほしい。</p> <p data-bbox="231 425 598 560">埋設物調査業務について複数案件を同じ業者と契約するなど、別の契約形態は考えられるのか。</p>	<p data-bbox="614 235 1500 369">本件の業務内容は、国有財産地下埋設物の掘削調査であり、掘削量は13,328.2㎡であるが、他の案件の業務内容は埋設物ボーリング調査であり、ボーリング点数558点と、内容が相違しており、予定価格も相違している。</p> <p data-bbox="614 425 1500 492">財産毎に土地の使用経緯や特性に違いがあり、また処分時期も異なることから、本件のような調査業務において別の契約形態は困難と史料。</p>